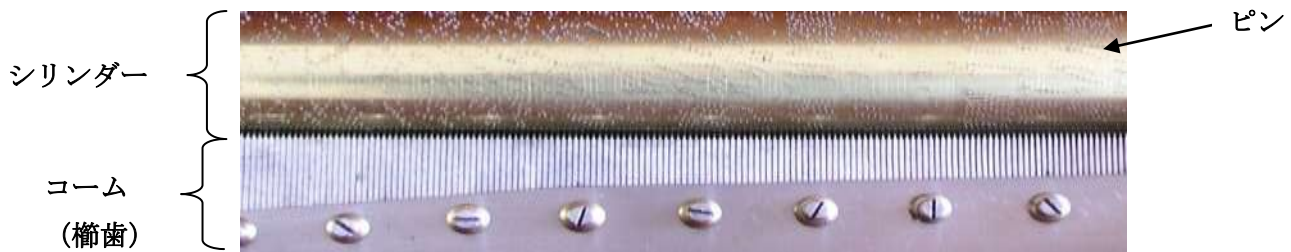


〒662-0088 兵庫県西宮市苦楽園 4 番町 7-1
 TEL.0798-70-0656(ナレオルゴール) FAX.0798-72-0110
<http://www.orgel-horie.or.jp/> Email info@orgel-horie.or.jp

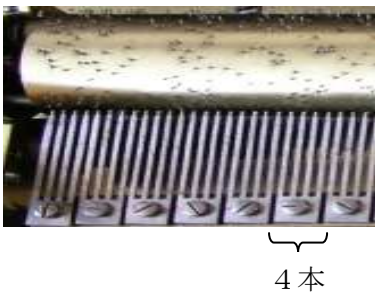
シリンダーオルゴール その豊かな音色

シリンダーオルゴールの音色はコーム（櫛）と呼ばれる鋼の板が一本一本ピンに弾かれることで決まります。このコームをどのように取付け鳴らすか、当時の職人は試行錯誤を重ね最終的には豊かな音楽表現を可能にしました。次に上げるのはその中のいくつかの仕様です。



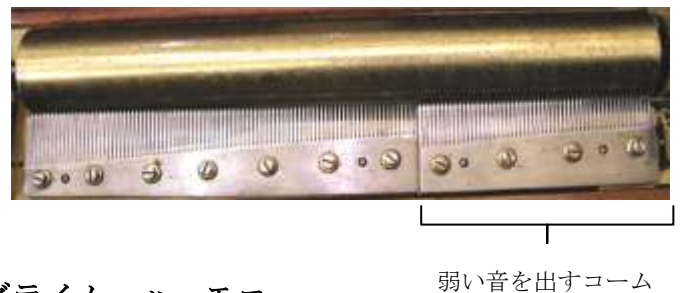
セクショナルコームフェーゼ

1800年～1820年頃に見られる比較的初期の形です。1本、あるいは4本、6本の櫛歯に分かれています。1枚の鋼の板を切る高度な技術がなかったことや、鋼が高価なものだった為、万が一失敗した時に数本分だけ取り換えられるようにしたものとして推測されています。



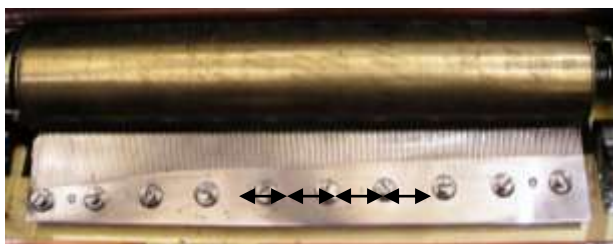
フォルテ ピアノ (ピアノ フォルテ)

1840年頃に強弱をつけて奏でるオルゴールが登場しました。強弱を付ける方法は3通りあり、①櫛を二つに分け、左側の櫛は通常の音量にし、右側にセットする櫛はピンとの当たり具合を調整して弱く弾くようにしています。②ピンの角度を変えて櫛歯とピンの当たり具合を変えることで強弱をつくります。③シリンダーに刺すピンの長さを変えて当たり具合が同一にならないようにして強弱をつけています。



マンドリン

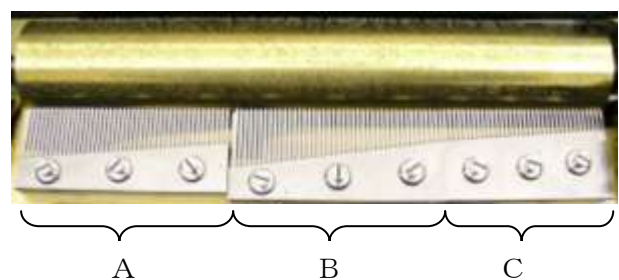
同じ音に調律した3～4本の櫛歯をピンが高速で弾いて楽器のマンドリン演奏のようなトレモロ効果をつくり出す技法です。スーパーマンドリンと呼ばれるものは8～10本の同音櫛歯を並べたものです。



例えば左から 74 番目～83 番目 全て +2C #
 " 89 番目～97 番目 全て +2D #

サブライム ハーモニー

同じ音に調律した（実際には微妙に違う）櫛歯を2セット使用し、同時に鳴らしたりトレモロ演奏等をしてある種の不況和音を作り出し、音に深みを持たせています。サブライムハーモニーの技術はシリンダーオルゴール界に革新をもたらし、この技法を応用したものが後に多く見られるようになります。



AとBのコームには同音調律の櫛歯が何本も見られます。

2011年 秋のプログラムご案内

テーマ「オペラと唱歌」

10月1日(土)～12月4日(日) 休館 月曜日(祝日は開館)

*一般の方(1名様～19名様)の案内は木曜～日曜、祝日です。
但し11月1日(火)～12月4日(日)は
一般の方も月曜日以外毎日ご入館して頂けます。

「ふるさと」や「ヤシの実」など懐かしい唱歌をディスクオルゴールで演奏します。蓄音機も登場し、昭和の時代へとタイムスリップ! シリンダーオルゴールではヴェルディやロッシーニらのオペラの名曲を演奏します。本館1階ではアメリカ製の電磁コイルを使った自動バイオリンの演奏をお楽しみ下さい。

秋の庭園特別公開のお知らせ

11月1日(火)～12月4日(日)
月曜日以外毎日ご入館頂けます。



800坪のもみじやどうだんつつじの紅葉で彩られる庭園をオルゴールの余韻とともにゆっくりご鑑賞下さいませ。

会期中の講演会

- ① 「阪神モダニズムとその美」
11月13日(日) 14:00
講師 兵庫県立美術館 河崎晃一氏
- ② 「オペラとオルゴールの時代」
11月20日(日) 14:00
講師 国立音楽大学 元学長 高野紀子氏

オルゴール博物館ニュース

平成23年度西宮市民文化賞 団体の部受賞

平成23年度西宮市民文化賞を受賞致しました。西宮市民文化賞は昭和36年に制定され、50回目となる今年は個人の方2名と当館の1団体が表彰されます。

これを機にますますお客様に愛されるオルゴール館を目指し、努力して参ります。今後ともどうぞよろしくお願い致します。